

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	もりおか健康21プラン推進事業				事業コード	2384
担当課等	所属名	市保健所 健康推進課		担当係名		
	課長名	健康推進課 津志田 和彦	担当者名	大志田 久美子	電話番号	6220

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	健やかに暮らせる健康づくりの推進	コード 1
	基本事業	健康の保持増進	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 4款 3項 2目 保健活動事業(001-01)	
	特記事項					
事業期間	☐ 単年度 ☐ 単年度繰返 ☒ 期間限定複数年度				⇒ (22年度 ～ 26年度)	
事務事業の概要	市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むとともに、家庭、地域、学校、職場、行政が一体となって支援し、市民の健康づくりを総合的に推進するために策定され、その計画に基づいて保健活動事業を推進していく。					
根拠法令等	健康増進法 第8条					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
国において平成12年3月に「健康日本21」、県では「健康いわて21プラン」をそれぞれ策定した。国民保健の向上を図ることを目的とした「健康増進法」が平成15年5月から施行され、生涯にわたり健康の増進に努めることを国民の責務とし、併せて健康増進事業の実施者は、健康増進のための事業を積極的に推進し、市町村においては、健康増進計画を定めるよう努めるものとしている。市においては、平成17年度～平成26年度までの10か年計画として「もりおか健康21プラン」として策定した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
社会情勢に合わせ、重点領域の更なる取り組みを行うために健康づくりサポーターとの連携を強化することが必要である。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
平成21年度に旧盛岡市の「もりおか健康21プラン」、旧玉山村の健康づくり行動計画」の2つの計画について、市民アンケート、業務実績等で中間評価を行い、再編統合を図り、後期の計画を作成した。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 20歳以上の市民	単位	24千人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ◆広報掲載「もりおか健康21プランシリーズ」として各領域の情報健康づくりに関する情報を6回掲載 ◆保健所ホームページ「健康お役立ち情報」の更新 ◆玉山区地域協議会だより～ひめかみ～(年4回)の活用し、健康に関すること等情報提供を行った。 ◆「もりおか健康21プラン」の概要版作成(700部) ◆受動喫煙防止対策 保健所内における受動喫煙防止対策についてワーキンググループを立ち上げ、会議を3回実施 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ◆21計画検討会 計画の進捗管理、評価、計画のあり方について委員をアドバイザーとして依頼し、検討会を開催予定。 ◆保健所ホームページ「健康お役立ち情報」の更新 ◆玉山区地域協議会だより～ひめかみ～(年4回)の活用し、健康に関すること等情報提供実施。 ◆「もりおか健康21プラン」の概要版印刷 ◆受動喫煙防止対策 保健所内における受動喫煙防止対策について引き続きワーキンググループで検討する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 説明会の開催回数	単位	22回
				B. 概要版配布数	単位	594回
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	①自分は健康であると思う人を増やす ②普段、地域の人に声を掛けたり、手助けをしている人を増やす	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 業務アンケート調査「自分が健康であると思う」と答えた市民の割合 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	%
				B. 業務アンケート調査「普段、地域の人に声をかけたり、手助けをしている」と答えた市民の割合 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	%
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果	健康を保つ活動が行われている	⇒	⑧上位成果	健康教育・相談者数(単位:人)		

(上位基本事業
の意図:上位の
基本事業にどの
ように貢献する
か)

指標
(上位基本事業の
成果指標)

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	20歳以上の市民	24千人	240千	212, 000	212, 000	212, 000	237, 943	240千	26 年度 240千
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	説明会の開催回数	22回	20	25	50	28	50	50	26 年度 50
活動 指標B	概要版配布数	594回	315	200	2000	594	1, 000	1, 000	26 年度 1000
活動 指標C									年度
成果 指標A	業務アンケート調査「自分が健康であると思う」と答えた市民の割合	%	48.9	-	-	-	-	-	26 年度 60%
成果 指標B	業務アンケート調査「普段、地域の人に声をかけたり、手助けをしている」と答えた市民の割合	%	71.3	-	-	-	-	-	26 年度 75%
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	470	685	205	157	205	205	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	470	685	205	157	205	205	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④～⑧) (=A)	千円	470	685	205	157	205	205	*****
延べ業務時間数		時間	380	450	200	150	200	200	*****
職員人件費 (B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	1,520	1,800	800	600	800	800	*****
トータルコスト (A) + (B)		千円	1,990	2,485	1,005	757	1,005	1,005	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	☐ 見直す余地がある ☒ 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	☐ 見直す余地がある ☒ 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	☐ 拡大または絞る余地がある ☒ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	☐ 拡大または絞ることができる ☒ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	☒ 向上余地がある ☐ 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	☐ 影響がない ☒ 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	☐ 類似事業がある ☒ 類似事業がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	☒ 削減余地がある ☐ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	☒ 削減余地がある ☐ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☒ 公平・公正である ☐ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
公平性評価	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☒ 公平・公正である ☐ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 計画の最終年度でアンケート調査し、その結果により検討していく。 ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 計画の推進体制の中で、当課以外に健康福祉課・保健予防課(他領域)・高齢者支援室との連絡調整が必要なため、連携を蜜にとる必要がある。
---------	--

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 <table><tr><td>① 必要性</td><td>● 妥当</td><td>○ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>● 妥当</td><td>○ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>● 妥当</td><td>○ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>● 妥当</td><td>○ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) 各領域について他課と連携を図りながら取り組んで入るところであるが、後期は社会情勢に併せながら、最も重点をおきたい領域を選択する等具体的取り組みについて協議していく。そして、26年度の期間満了に向けて、サポーターとの連携を蜜にし目標の到達を図っていきたい。
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table><tr><td>☐ 終了</td><td>☒ 継続</td><td rowspan="3"> → ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ☐ 改革改善を行う ☐ 事業統廃合・連携 </td></tr><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td></tr><tr><td colspan="2"></td></tr></table> ↓ 方向付けの理由と改革改善の内容 市民の健康づくりを総合的に推進するために計画に基づく保健活動事業を継続する必要がある。		☐ 終了	☒ 継続	→ ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ☐ 改革改善を行う ☐ 事業統廃合・連携	☐ 廃止	☐ 休止							
☐ 終了	☒ 継続	→ ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ☐ 改革改善を行う ☐ 事業統廃合・連携												
☐ 廃止	☐ 休止													